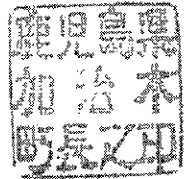


加建第 253 号

平成20年10月14日

国土交通省道路局長 殿

加治木町長 笹山 義弘



今後の道路行政についての意見・提案の提出について(回答)

上記の件について別紙のとおり回答いたします。

なお、各様式において内容が酷似しておりますが、今回は本町にとって切実な問題を  
を取り上げさせていただきました。

①道路行政全般についての改善すべき点、要望や提案など

鹿児島県加治木町

要望

1. 橋りょうの架替工事、及び修繕工事の国庫補助事業の設立

現在全国的に推進しております、橋りょうの長寿命化修繕計画については、本町も今年度より着手する予定であります。修繕計画を作成するにあたり相当な費用を要することから、点検作業を除き計画書作成には国からの50%の補助を受け大変ありがたく受け止めております。

しかし、修繕計画を実施するに当たり、簡易な修繕等は町単独事業で実施できますが、大規模な修繕、及び架替工事となると多大な費用を要し町の財政を非常に圧迫します。橋りょうは住民の命を守る大変重要な道路構造物です。何卒市町村の財政を考慮いただき、補助事業の設立をお願いいたします。

2. 国道10号の渋滞解消

国道10号の渋滞は、朝夕の通勤時間帯における鹿児島市からの流出入が主なもので、特に朝の市内への通行量が多いようです。これは、始良町の一部2車線区間、及び鹿児島市における一部2車線区間の渋滞が原因となるようで、この区間の4車線化が早急に必要であります。用地の問題、予算の問題等数多くの難題があると思われませんが、4車線化実現に向けて推進していただきますよう切に要望いたします。

さらに、国道10号加治木バイパスは、終点が九州縦貫自動車道と隼人道路のジャンクションまでであり、これより先が国道10号へ接続していないことから、バイパス本来の役割が十分ではなく、国道10号の慢性的な渋滞の根本的な解消には至っておりません。また、現在でも渋滞が発生している霧島市隼人町の国道10号沿いに大型量販店AZが建設中であり、21年4月に開店の予定であることから、大規模な渋滞が予想されます。そこで渋滞の解消と同時に、既存ストックを活用しネットワークを形成することにより、地域の産業・地方経済の発展のための広域交流をより活発にし国道10号バイパスの延長として利用できるように、隼人道路を無料化していただくよう要望します。

提案

1. 有料道路の有効活用

加治木町と霧島市を結ぶ有料道路の「隼人道路」は、九州縦貫道路、国道10号バイパス、県道55号が交差する加治木ジャンクションに接続される非常に便利な道路であります。しかし、料金の割引システムも適用されず利用率が低い道路となっております。朝夕の通勤時間帯では国道10号が非常に混雑し、通行に支障をきたしております。本町としましては国道10号の混雑解消、隼人道路の有効活用を期待して無料化を願っておりますが、せめて割引システムの導入だけでも検討していただきたいと提案いたします。

②-1 地域の現状と抱える課題

鹿児島県加治木町

○現状

1. 現在、本町では橋りょう長寿命化修繕計画の作成に取り組んでおりますが、本町の橋りょうは設置年度の古いものが多く、せっかく修繕計画を立案しても、その修繕計画が大規模になるもの、また、架替工事となるものが数多く見受けられます。本町単独では工事实施の困難が予想されます。

2. 本町における国道10号バイパス4車線化工事は、今年度より本格的に始動し完成が待ち望まれています。しかし、通行車輛のほとんどが加治木JC入口から空港方面への車輛であり、旧隼人町方面への車輛は国道10号を利用してしており、夕方の通勤時間帯では鹿児島市方面からの車輛により本町の市街地では渋滞しているのが現状です。

○課題

1. 現在橋りょうの架替工事等は、道路改良事業の実施とともに施工していますが、今後は市町村にとって、橋りょうの長寿命化修繕計画に則って実施する、全ての修繕工事に対する補助事業制度の設立が切実な問題となります。

2. 10号バイパス4車線化工事と同時に隼人道路の無料化、あるいは割引システムの導入が実施されれば、隼人道路への通行量が増加し、国道10号の渋滞は必然的に解消されと考えられます。

今後の道路行政についての意見・提案

様式③

②－2地域の目指すべき将来像

鹿児島県加治木町

現在本町では、10号バイパス4車線化の工事が急ピッチで進められております。将来的にはこの10号バイパスが何らかの形で霧島市と連絡し、霧島市、鹿児島市間の円滑な交通環境が整い、本町での交通渋滞が解消され交通安全が図られるよう期待しています。

今後の道路行政についての意見・提案

様式④

②－2地域の目指すべき将来像

鹿児島県加治木町

○重点事項

○代表事例

○期待する効果や評価など

○その他

交通渋滞の解消

10号バイパスの4車線化, 及び国道10号4車線化, 加治木10号バイパスから霧島市方面へのアクセス道路(当面は単人道路の無料化, あるいは割引料金システムの導入)の設置。

本町だけに限らず, 朝夕の通勤時間帯では本町から霧島市にかけての渋滞, また始良町から鹿児島市にかけての渋滞は煩雑であり交通安全に非常に支障となっております。左記の代表事例掲げる事案が実施されれば国道10号の渋滞は解消されると期待しております。